

「日本宗教」第2回

宗教の風景

日本宗教を概観する

リーディング・アサインメント

- ・ 『世界を読み解く「宗教」入門』
第1章「今こそ必要とされる宗教の知識」
(10-44頁)
- ・ 同 第4章
topic 1「日本人の宗教意識」
topic 2「日本人の死生観」
(186-201頁)



Overview

- ・ 宗教の起源
- ・ 日本宗教史のアウトライン
- ・ 現代における宗教の風景

- ・ 地球誕生から
現在までを一日
にたとえると・・・
- ・ 生命の誕生は午前4時10分
- ・ 光合成生物が発生したのは9時55分
- ・ ほ乳類の先祖が現れたのは22時48分
- ・ 人類が誕生したのは23時58分



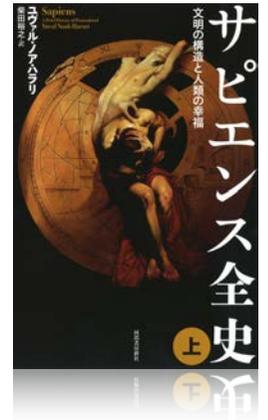
宗教の起源

- ・ シンボリズムの使用
- ・ 死者の葬送



「伝説や神話、神々、宗教は、認知革命に伴って初めて現れた。それまでも、「気をつける！ ライオンだ！」と言える動物や人類種は多くいた。だがホモ・サピエンスは**認知革命**のおかげで、「ライオンはわが部族の守護霊だ」と言う能力を獲得した。**虚構、すなわち架空の事物について語るこの能力**こそが、サピエンスの言語の特徴として異彩を放っている。」

(ユヴァル・ノア・ハラリ『サピエンス全史——文明の構造と人類の幸福』(上)河出書房新社、2016年、39頁)



「宗教を抜きにして、人類が小さな群れにすぎなかった社会を超えていかに発展していったのかを理解することは不可能だ。(中略)それ(宗教儀式)によって、人間社会は環境に対してなんらかの作用を及ぼそうという望みを抱く。」

(フランシス・フクヤマ『政治の起源』上、講談社、2013年、72頁)



「朝」 谷川俊太郎

また朝が来て僕は生きていた
夜の間の夢をすっかり忘れてぼくは見た
柿の木の裸の枝が風にゆれ
首輪のない犬が陽だまりに寝そべってるのを

百年前ぼくはここにいなかった
百年後ぼくはここにいないだろう
あたり前の所のように
地上はきっと思いがけない場所なんだ

いつだったか子宮の中で
ぼくは小さな小さな卵だった
それから小さな小さな魚になって
それから小さな小さな鳥になって

それからやっとぼくは人間になった
十ヶ月を何千億年もかかって生きて
そんなこともぼくら復習しなきゃ
今まで予習ばっかりしすぎたから

今朝一滴の水のすきとおった冷たさが
ぼくに人間とは何かを教える
魚たちと鳥たちとそして
僕を殺すかもしれないけものすら
その水をわかちあいたい

「序詞」 尹 東柱 (ユン・ドンジュ)

死ぬ日まで 天を仰ぎ
一点の恥ずることなきを、
葉あいを 縫いそよぐ風にも
わたしは 心痛めた。
星を うたう心で
すべて 死にゆくものたちを愛しまねば
そして わたしに与えられた道を
歩みゆかねば。
今宵も 星が 風に むせび泣く。



1941.11.20

日本宗教史の アウトライン

縄文時代 11,000?-300 B.C.E.	アニミズム
弥生時代 c. 300 B.C.E.-c. 200 C.E.	祖先崇拜が広まる
古墳時代 c. 200-c. 500	卑弥呼による国家連合
飛鳥時代 c. 500-710	<ul style="list-style-type: none"> •538年、仏教伝来 •聖徳太子が仏教を奨励。神仏習合
奈良時代 710-784	<ul style="list-style-type: none"> •奈良仏教（南都六宗）が栄える •752年、東大寺の大仏が建立
平安時代 794-1192	<ul style="list-style-type: none"> •比叡山に天台宗（最澄）、高野山に真言宗（空海）が成立 •1052年、末法思想が広まる •阿弥陀信仰、念仏が広まる

鎌倉時代 1192-1333	法然（浄土宗）、親鸞（浄土真宗）、栄西（臨済宗）、道元（曹洞宗）、日蓮（日蓮宗）らが活躍。鎌倉仏教の誕生
室町時代 1336-1573	<ul style="list-style-type: none"> •神国思想の成立（北畠親房『神皇正統記』） •鎌倉仏教の拡大 •禅文化（五山文化）の繁栄
(戦国時代) c. 1460-1573	<ul style="list-style-type: none"> •1549年、ザビエルがカトリックをもたらす •1571年、織田信長が比叡山を焼き討ち
安土桃山時代 1573-1603	1589年、豊臣秀吉、キリシタンを禁じ、京都のカトリック教会を焼く

江戸時代 1603-1867	<ul style="list-style-type: none"> •キリシタンの弾圧 •儒学、国学の繁栄
明治時代 1868-1912	<ul style="list-style-type: none"> •1868年、神仏分離令 •神道を国策の中心に（国家神道の形成） •1873年、キリスト教解禁 •1875年、同志社英学校設立
大正時代 1912-1926	マルキシズム、社会主義運動が盛んに
昭和 1926-1989	<ul style="list-style-type: none"> •創価学会、立正佼成会などの新宗教が成立 •1945年、神道指令（国家神道の解体）
平成 1989-現在	1995年、オウム真理教による地下鉄サリン事件

現代における宗教の風景



上賀茂神社
創建：678年
かもわけいかづちのおおかみ
主祭神：賀茂別雷大神
世界文化遺産





延 暦 寺

創建：788年
 開基：最澄（767-822）
 宗派：天台宗
 世界文化遺産





東 寺

創建：796年

開基：桓武天皇

宗派：真言宗

世界文化遺産

823年、空海が嵯峨天皇から東寺を
与えられ、真言密教の根本道場とした。



知恩院

創建：1175年
開基：法然（1133-1212）
宗派：浄土宗
専修念仏（南無阿弥陀仏）

ごえいどう
御影堂



東本願寺

創建：1602年
開基：本願寺第十二代・教如
宗派：真宗大谷派
西本願寺は浄土真宗本願寺派
いずれも宗祖は親鸞（1173-1263）



相 国 寺

創建：1382年

開基：足利義満

宗派：臨済宗

鹿苑寺（金閣寺）、慈照寺（銀閣寺）は
相国寺の山外塔頭